

受講案内 兼 訓練カリキュラム

建築3DCGコース（Blender）／eラーニング（オンライン・専用LMS）

発行日：2026年7月1日
発行：PERSC（合同会社KEGWORK）
文書区分：訓練機関 発行書類

本書は、人材開発支援助成金（人材育成支援コース）の申請にあたり、受講企業様が職業訓練実施計画届に添付される「訓練カリキュラム／受講案内」としてご利用いただけます。訓練の実施主体・目的・実施形態・標準学習時間・科目構成・受講料を記載しています。

1. 実施主体および訓練の概要

実施主体（訓練機関）	PERSC（合同会社KEGWORK）
講座名	建築3DCGコース（Blender）
訓練の目的	建築・インテリア実務に必要な3DCG技術を、未経験から習得する。図面をもとに、フォトリアルな建築パース（内観・外観）を自力で制作できる状態を到達目標とする。
実施形態	eラーニング（オンライン）。専用LMS（学習管理システム）上で、動画教材・テキスト・制作演習により学習する。
標準学習時間	合計 約25時間（25時間31分30秒） 内訳：動画教材 9時間36分 + テキスト・制作演習 15時間55分
受講料	¥59,800（税込・買い切り／1名あたり）
カリキュラム構成	基礎編 全21レッスン + 実践編 全6プロジェクト
修了要件	全レッスン・全ステップの受講完了（専用LMSが個人ごとに記録）。
進捗管理	専用LMSが受講ステップの進捗・受講状況・受講日時を個人ごとに記録・保存する。

2. 訓練カリキュラム（科目別・標準学習時間）

No.	科目（レッスン）	主な学習内容	標準学習時間
基礎編 Blenderの操作とモデリングの基礎（全21レッスン）			
1	インストール&7項目の初期設定	Blenderの導入・日本語化・推奨初期設定	22分22秒
2	画面構成と基本的な操作方法	UIの構成／視点操作／移動・回転・拡大縮小	28分04秒
3	画面の分割・統合	ワークスペースの分割・統合・画面交換	12分54秒
4	頂点・辺・面の基本	編集モードとメッシュ要素の選択・編集	17分52秒
5	押し出し／面の差し込み	押し出し・面の差し込みによる形状作成	19分06秒
6	選択の基本／いろいろな選択方法	ボックス・ループ・投げ縄など各種選択	19分26秒
7	プロポーショナル編集／8つの減衰タイプ	プロポーショナル編集と減衰タイプの使い分け	22分04秒
8	ループカット	ループカットによる面分割と形状調整	22分22秒
9	ナイフツール・ナイフ投影	ナイフツール・二等分・ナイフ投影	20分40秒
10	削除と溶解	削除と溶解の違いと使い分け	5分30秒
11	分割・分離・切り裂き・複製	メッシュの分割・分離・複製	20分06秒
12	統合とブーリアン	オブジェクトの統合とブーリアン演算	15分02秒

No.	科目（レッスン）	主な学習内容	標準学習時間
13	ペアレント／親子関係	親子関係の設定・解除	12分02秒
14	フィルで面貼り	面張り・フィル・グリッドフィル	8分28秒
15	ピボットポイント	3Dカーソルとピボットポイントの種類	16分26秒
16	モディファイヤー	ミラー・ベベル・ソリッド化など主要モディファイヤー	25分56秒
17	マテリアルの超基本	マテリアルの追加・色設定・割り当て	20分42秒
18	カメラの設定	カメラの追加・構図・被写界深度	23分18秒
19	レンダリングのやり方・設定	ライト・解像度・レンダーエンジンと書き出し	18分28秒
20	【+α】マテリアル設定の基本	プリンスブルBSDFの各項目	21分20秒
21	【+α】ノード設定の基本	シェーダーノードの構成と接続	21分58秒
基礎編 小計			6時間34分06秒
実践編 図面をもとにした建築・インテリアの制作演習（全6プロジェクト）			
1	太陽光の入る白い部屋	シンプルな内観のモデリング～ライティング～レンダリング	30分12秒
2	柔らかな光に迎えられる和の玄関	和の玄関の制作（アドオン活用・照明・マテリアル）	1時間42分30秒
3	タイルが映えるサニタリースペース	水回り空間のモデリングとマテリアル表現	1時間16分51秒
4	グリーントイルが魅せるブランドショップ	図面取込みからの店舗空間制作	2時間46分39秒
5	ガラス張りのコーヒーロースターズ	外観を含む建築空間の制作	3時間44分48秒
6	名建築で学ぶ「住吉の長屋」	名建築の本格モデリング（総合演習）	8時間56分24秒
実践編 小計			18時間57分24秒
標準学習時間 合計			25時間31分30秒

3. 標準学習時間の考え方

標準学習時間は、修了に通常必要な学習時間として、動画教材の視聴に加え、テキスト学習および制作演習にかかる時間を含めて設定しています（合計 約25時間）。受講者が実際に手を動かして制作するeラーニングの特性を踏まえ、各レッスンの動画尺をもとに、制作演習・振り返りの時間を加えて算定したものです。

※ 本コースはeラーニングのため、人材開発支援助成金では経費助成が対象です（賃金助成は対象外）。標準学習時間にテキスト・制作演習を含める設定の可否については、管轄労働局への事前相談で最終確認を行っています（2026年6月時点）。最終的な助成の可否・支給額は、受講企業様の状況および労働局の審査により決まります。

4. 申請にあたりPERSCが提供する書類

受講にともない、申請（経費助成）で必要となる以下の書類をPERSCが提供します。

本書（受講案内・訓練カリキュラム）	実施主体・目的・実施形態・標準学習時間・科目構成・受講料を記載（PERSC発行）。
受講申込書	受講のお申し込み内容（企業名・受講者・コース・受講料・お支払い方法等）。PERSCが様式を提供し、受講企業様にご記入いただきます。
受講料の支払い証明（領収書）	お支払いは銀行振込です。PERSCが請求書・領収書を発行します。

修了証	標準学習時間の内訳と受講完了の事実を記載してPERSCが発行。証明書にデータのハッシュ（SHA256）を記録し改ざんを検知。受講状況（受講記録）の証明を兼ねます。
-----	---

- ※ 受講状況（受講記録）は修了証に記載しています。受講画面の保存（スクリーンショット）は受講者ご自身でも取得いただけます。
- ※ 助成金の申請書および各官製様式は、受講企業様（事業主）または社会保険労務士が作成・提出します。PERSCはその作成に必要な上記書類を提供するもので、様式の記入・申請の代行は行いません。
- ※ 申請に実際に必要となる証明書類は、管轄の労働局・事前相談でご確認ください。

訓練機関	PERSC（合同会社KEGWORK）
お問い合わせ	persc.jp / お問い合わせフォームよりご連絡ください
発行日	2026年7月1日

本書の制度に関する記載は2026年6月時点のものです。人材開発支援助成金の制度内容・要件・様式は年度や国の方針により変更される場合があります。最新かつ正確な情報は厚生労働省「人材開発支援助成金」のページ、または管轄の都道府県労働局でご確認ください。出典：厚生労働省「人材開発支援助成金」（2026年6月時点）。